

着実な利息収入の積み上がりによる良好かつ安定したパフォーマンス

アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)

追加型投信/海外/債券

2018年4月9日

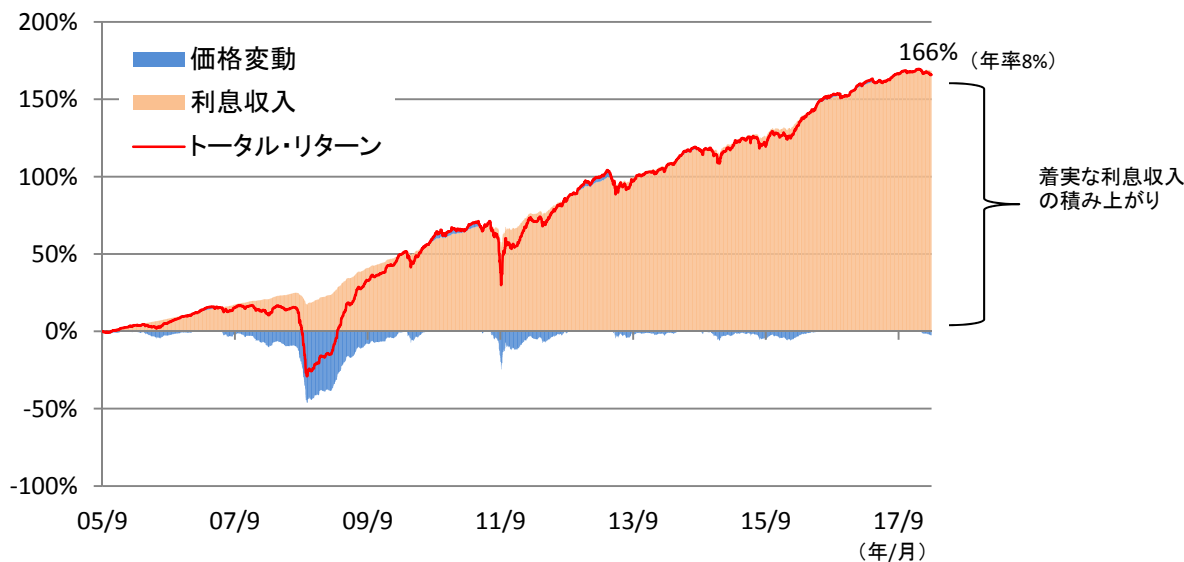
【当レポートのポイント】

- 米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券は、相対的に高い利回りによる着実な利息収入の積み上がりによって、長期的に良好かつ安定したパフォーマンスを実現
- 2月以降の急速な米ドル銀行間金利（US\$ Libor）の上昇が、社債市場全体に悪影響を及ぼし、米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券のパフォーマンスも悪化
- 米国債発行ペース鈍化によってUS\$ Liborの上昇ピッチが緩み、社債市場は落ち着きを取り戻す見込み
- 十分な利鞘（りざや）が見込める米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券には、投資資金の流入回復の可能性
- 長期的な観点で資産運用を考えるならば、パフォーマンスが下振れた時こそ投資の好機

長期的に良好かつ安定したパフォーマンス

米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券は、相対的に高い利回り(7.25%、2018年3月末)による着実な利息収入の積み上がりによって、長期的に良好かつ安定したパフォーマンスを実現させています(図1)。

(図1) 米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券の要因別パフォーマンス
(2005/9/30~2018/3/30)



※米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券: J.P. Morgan Asia Credit Index Corporate Non-Investment Grade (出所) J.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーデータより岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

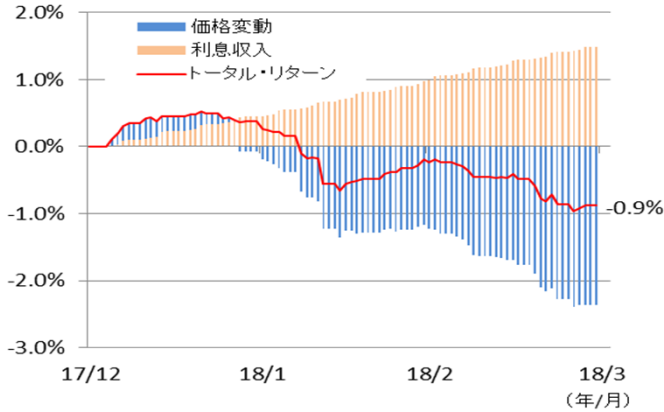
■本資料は、「アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信/海外/債券

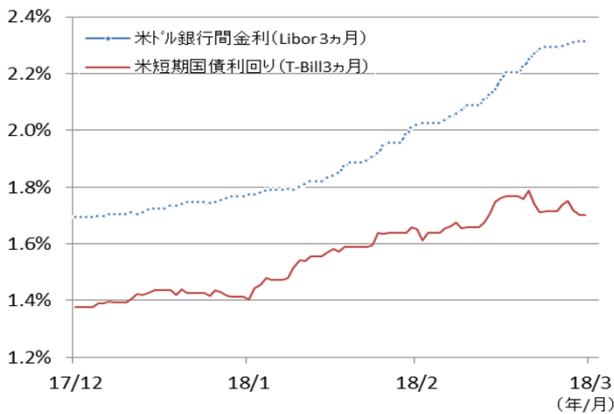
年初来のパフォーマンスと今後の見通し

(図2)年初来の米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券の要因別パフォーマンス(2017/12/29~2018/3/30)



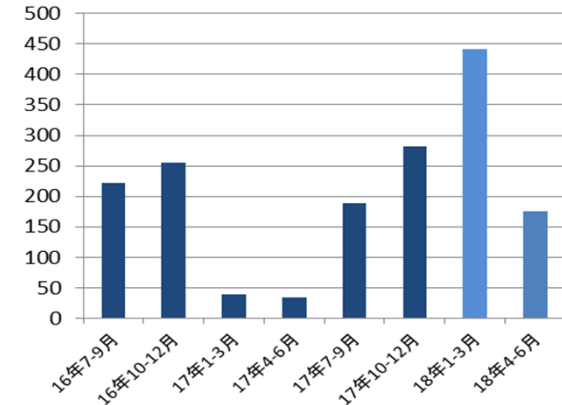
※米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券: J.P. Morgan Asia Credit Index Corporate Non-Investment Grade (出所) J.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーデータより岡三アセットマネジメント作成

(図3) US\$ Liborと米短期国債利回り推移(2017/12/29~2018/3/30)



(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

(図4) 米国政府の国債発行等による資金調達※(2016年7-9月~2018年4-6月、2018年1-3月以降は予想値)
(10億米ドル)



※ Financing-Marketable Borrowing (出所) 米国財務省 Sources and Uses Reconciliation Table (2018/1/29) データより岡三アセットマネジメント作成

年初来の米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券のパフォーマンスは、価格変動によるマイナスの影響が大きく響き、利息収入を加えたトータル・リターンもマイナスとなっています(図2)。

2月以降の世界的な株価下落による市場心理の悪化に加え、急速な米ドル銀行間金利(US\$ Libor)の上昇が、銀行など機関投資家の資金調達コストを増大させたことにより、利鞘(りぎや:利息収入と資金調達コストの差引)縮小を警戒した動きが、ハイ・イールド債券を含めた社債市場全体に悪影響を及ぼした模様です(図3)。

このUS\$ Liborの急上昇については、米国の税制改革を背景とした企業によるコマーシャル・ペーパー等の発行増加や、政府による短期国債の増発による短期金融市場の需給悪化が主な原因と見られています。

ただ、短期国債については、足元では発行が鈍化する見通しであり、これを受けてUS\$ Liborの上昇ピッチに若干の緩みも見られています(図3、4)。こうした状況が続くならば、徐々に社債市場は落ち着きを取り戻すと見られ、特に高利回りであることから十分な利鞘確保が見込めるハイ・イールド債券には、投資資金の流入が回復すると予想しています。

もっとも、市場はこうした投資環境の悪化を過去に幾度となく経験しています。米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券も、その度にパフォーマンスを下振れさせていますが、時間の経過に伴って積み上がる利息収入がこれを補い、これまで良好かつ安定したパフォーマンスを実現してきました(前頁図1)。長期的な観点で資産運用を考えるならば、パフォーマンスが下振れた時こそ投資の好機と捉えることもできるため、今こそ米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券は、魅力の高い投資対象として注目されるべきと考えています。

(作成: 運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信/海外/債券

アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、アジアのハイ・イールド債券、転換社債（CB）等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、各ファンド共通のリスクとして「信用リスク」、「金利変動リスク」、「転換社債（CB）の価格変動リスク」、「流動性リスク」、「カントリーリスク」、各ファンド個別のリスクとして「為替変動リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.78%(税抜3.5%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.2%

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
 - 純資産総額×年率1.2636%（税抜1.17%）
 - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担
 - 純資産総額×年率1.9236%程度～年率1.9548%程度
 - 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.01296%(税抜0.012%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金利息等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信/海外/債券

2018年4月9日現在

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

※楽天証券株式会社は、2018年4月13日から取扱い開始です。

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)